

1

横河電機株式会社

| | 各社の考え方 |
|--------------|--|
| ① 算定を行う背景・目的 | <ul style="list-style-type: none">● L C A 算定結果から、自社の排出量（Scope1,2）よりサプライチェーン排出量（Scope3）の方が環境影響が大きい。● お客様での効率化を進めることでサプライチェーンの排出量を削減しており、効果算定のための基本データとする。● 各種ステークホルダーからの要請への対応として情報開示をおこなう。 |
| ② 算定結果の活用方法 | <ul style="list-style-type: none">● ホームページ、サステナビリティレポート上でサプライチェーン排出量の公開をおこなう。● 各種ステークホルダーからの設問の回答に使用する。 |
| ③ 算定のメリット | <ul style="list-style-type: none">● サプライチェーンでの環境負荷の把握と経年での改善量の評価ができる。● 適切な情報開示を行うことによりステークホルダーとのコミュニケーションが進展する。 |
| ④ 社内の算定体制 | <ul style="list-style-type: none">● 経理部門、調達部門、事業部門などの関連部署からデータの収集や算定を行い、事務局でとりまとめを行う。 |

2

横河電機株式会社

| | 各社の考え方 |
|------------------------------|---|
| ⑤ サプライチェーン 排出量の削減に 向けて | <ul style="list-style-type: none"> ● 製品の省エネを進め、カテゴリ11「販売した製品の使用」の排出量削減をおこなう。 ● 輸送の合理化、モーダルシフトや梱包改善を進め、カテゴリ4「輸送、配送（上流）」の排出量削減をおこなう。 ● 製品重量削減を進め、カテゴリ1「購入した製品・サービス」、カテゴリ4「輸送、配送（上流）」、カテゴリ12「販売した製品の廃棄」の排出量削減をおこなう。 |
| ⑥ サプライチェーン 排出量算定の 課題 | <ul style="list-style-type: none"> ● 製品がコンポーネントからシステムまで多岐に渡るため、製品使用時の算定ルールを設定するのが難しい。 ● 算定に多くの仮定を用いるため、実際の排出量や改善効果との乖離が生じる可能性がある。 ● 算定・公表を行っている各社間で算定方法や使用する原単位が異なるため、会社毎の排出量の大きさに関してミスリードが生じる可能性がある。 |
| ⑦ その他 （任意） | <ul style="list-style-type: none"> ● 2017年度環境省「サプライチェーン排出量の算定支援」事業を受け、これまで算定できていなかった、カテゴリ1「購入した製品・サービス」、カテゴリ4「輸送、配送（上流）」、カテゴリ11「販売した製品の使用」、カテゴリ12「販売した製品の廃棄」の算定を行い、全カテゴリの情報を公開している。 |

3

横河電機株式会社

| カテゴリ | 算定方法 ※算定対象期間：2019年4月～2020年3月 | |
|----------------------------------|------------------------------|---------------------|
| | 活動量 | 原単位 |
| カテゴリ1「購入した製品・サービス」 | ● 原材料・資材の購入金額 | ● 3 E I D 排出量原単位 |
| カテゴリ2「資本財」 | ● 資本財の購入金額 | ● 3 E I D 排出量原単位 |
| カテゴリ3「Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動」 | ● エネルギー種別ごとの調達量 | ● エネルギー種別の排出原単位 |
| カテゴリ4「輸送、配送（上流）」 | ● 出荷シナリオ、出荷重量 | ● 輸送種別の排出原単位 |
| カテゴリ5「事業から出る廃棄物」 | ● 廃棄物種別、処理方法別の発生量 | ● 廃棄物種別、処理方法別の排出原単位 |
| カテゴリ6「出張」 | ● 出張交通手段ごとの旅費支給額 | ● 出張交通手段別の排出原単位 |
| カテゴリ7「雇用者の通勤」 | ● 通勤手段ごとの通勤費補給金額 | ● 通勤手段別の排出原単位 |
| カテゴリ8「リース資産（上流）」 | ● 算定対象なし | ● 算定対象なし |
| カテゴリ9「輸送、配送（下流）」 | ● 算定対象なし | ● 算定対象なし |
| カテゴリ10「販売した製品の加工」 | ● 算定対象なし | ● 算定対象なし |
| カテゴリ11「販売した製品の使用」 | ● 使用期間の電力使用量 | ● 電力使用に伴う排出源単位 |
| カテゴリ12「販売した製品の廃棄」 | ● 販売製品の素材別重量 | ● 廃棄物種別の排出原単位 |
| カテゴリ13「リース資産（下流）」 | ● 算定対象なし | ● 算定対象なし |
| カテゴリ14「フランチャイズ」 | ● 算定対象なし | ● 算定対象なし |
| カテゴリ15「投資」 | ● 算定対象なし | ● 算定対象なし |
| 「その他」 | ● 算定対象なし | ● 算定対象なし |

4

横河電機株式会社

サプライチェーン排出量算定結果

| カテゴリ | サプライチェーン排出量 (t-CO2eq) |
|----------------------------------|-----------------------|
| カテゴリ1「購入した製品・サービス」 | 204,683 |
| カテゴリ2「資本財」 | 29,874 |
| カテゴリ3「Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動」 | 7,178 |
| カテゴリ4「輸送、配送(上流)」 | 17,325 |
| カテゴリ5「事業から出る廃棄物」 | 947 |
| カテゴリ6「出張」 | 17,750 |
| カテゴリ7「雇用者の通勤」 | 7,385 |
| カテゴリ8「リース資産(上流)」 | 算定対象なし |
| カテゴリ9「輸送、配送(下流)」 | 算定対象なし |
| カテゴリ10「販売した製品の加工」 | 算定対象なし |
| カテゴリ11「販売した製品の使用」 | 617,473 |
| カテゴリ12「販売した製品の廃棄」 | 1,131 |
| カテゴリ13「リース資産(下流)」 | 算定対象なし |
| カテゴリ14「フランチャイズ」 | 算定対象なし |
| カテゴリ15「投資」 | 算定対象なし |
| 「その他」 | 算定対象なし |